



議会だより



Tatsuno Town
Assembly News

9月定例会



議会の主催で「市町村合併について意見を聞く会」を開催しました

第11号

平成15年(2003年)
11月1日

●発行/辰野町議会
●編集/議会広報委員会

市町村合併について意見をお聞きしました p.2

9月定例会での論議の様子 ~総務文教常任委員会~ p.3

~社会福祉常任委員会~ p.4

~経済建設常任委員会~ p.5

陳情のゆくえ 条例案審議の内容 p.6

『市町村合併について意見を聞く会』

を企画

十三名のみなさんが意見を表明

議会主催による「市町村合併について意見を聞く会」を9月20日町民会館を会場に約70名余の参加により開催しました。

当日は、事前に申し込みのあった13名の方々から意見を発表していただきました。意見を発表された方々は発表順に次の

各氏です。(敬称略)
カッコ内は住所)
○桑沢富二(下辰野)
○岩田 清(宮木)
○宮沢美代子(平出)

○伊藤弥生(平出)
○松田和博(新町)
○小澤敏彦(小野)
○吉澤光雄(宮木)
○垣内 彰(宮木)
○小松立樹(北大出)
○伊藤剛志(小野)
○一ノ瀬静子(川島)
○宇治元一(小野)

発表内容は、紙面の都合から紹介できません。

合併に賛成あるいは反対の立場からそれぞれ個性的な内容が語られ、新鮮な内容となりました。また、6市町村の枠組みとは別に、箕輪町など新たな枠組みによる合併についても検討すべきとの意見も述べられました。

住民意向調査結果を踏まえた

議会としての今後の取組みは

正・副議長に聞く

町当局と十分連携をとって

議長 赤羽 敬一

上伊那北・東部六市町村合併についての住民意向調査は、反対(45%)が賛成(24・4%)を大きく上回る結果となりました。この結果を厳粛に受け止めて、住民の意向を最大限尊重していくべきだと思います。

住民の意向を尊重すれば、六市町村合併を前提とした法定合併協議会へ参画することは大変困難だと思います。

今後、町当局と十分に連携をとりながら、思い切った財政対応策などを具体化していくことが大切と考えます。

開かれた議会を
めざして

副議長 飯沢 将武

合併について意見を聞く会を議会主催

で開きました。初めての事ゆえ発表者・聴衆共参加していただけか心配でしたが、発表者の町を思うご発言と熱心な聴衆に辰野町は健在なりを実感致しました。同時に、議員はどう考えているのかとの発言に議会と議員の責務を再確認致しました。各議員は機会を捉えて考えを述べております。

が、「議会」として何が出来るかの検討も必要でしょう。昨年は各種団体の皆さんとの意見交換会を開催しました。今後各常任委員会で合併やまちづくりについてそれぞれの分野の皆さんとの懇談を計画しております。「開かれた、住民と共に歩む議会」を目指して努めてまいります。

総務文教常任委員会

9月定例会の委員会報告



西小学校耐震補強工事を確認しました

- 平成14年度一般会計決算の内、歳入全部、歳出の内
議会議費、総務費、民生費の内同和対策費、消防費、
教育費及び公費費
- 平成14年度有線放送特別会計決算

歳入

入ってくるものが
厳しくなり、国の支
付金の行方が定かで
ない今、起債につい
ては元償費が増えな
いよう細心の注意を
払い執行してしまし
た。

総務費

○十四年度が最終と
なる「いこいサロン」
の維持管理費につ
いては、地元との協
議をするべきだと指
摘しました。

○一階の冷暖房設備
をしたが、冷暖温度
については、午後の
み30度以上の場合
に限り使用し、電
力料金の節約に努め
ました。

○納税延滞に対してい
の対策は、新しく徹
収係を設け、職員を
地区割りし、滞納対
策月間として催告書
電話連絡、訪問の手
順を取り、対応して

消防費

きた。今後は執行停
止も考えての厳しい
対処を要望しました。

消防費
消火栓の不備によ
る消火作業の遅れが
考えられる。下辰野
羽場、上串出での消
防経験者による点検
等を参考にして、今
後地元の協力をお願
いし、災害対策に備
えることが大切と指
摘しました。

教育費（学校教育）

○羽場・北大出地区
の中学生三年間の電
車通学にかかる負担
は、一人約五万九千
円になる。今後、通
学費の補助の検討を
要望しました。

○学校給食の食材に
ついては、地産地消
をすすめる、地元の食
材の権力利用を要望
しました。

教育費（生涯教育）

○同和対策費は、十

五年度はそのままの
三分の二に、十六年
度には二分の一にと
順次減額してとの説
明がありました。

○同和対策費は、人権
教育として位置づけ
ることが必要と要望
しました。

○宮木城南公民館の
敷地料について他八
公民館との公平性を考
え、相当の年数が通
ぎているので、今後
検討するよう要望し
ました。

○子育て支援マスタ
ー間の情報交換を進
め、地域での自発的
な教育など、一年交
替の当て職ではなく
複数年の充実した活
動運営の実施を要望
しました。

○類似イベントは、
見直しの検討を要望
しました。

○美術館については
将来構想検討委員会
や監査委員の指摘を
踏まえて、施設・運
営の充実をはかるよ

う要望しました。

有線放送特別 会計決算

有線の加入状況は、
新規加入十三人、
脱会者四十五人で現
の加入、利用状況は
百八万五千五百二十件、
インターネットの加
入者数は、より高速
回線への移行により
八百六十名ほどに減
ってきているが、情
報社会への地域とし
ての対応として依然
必要である。

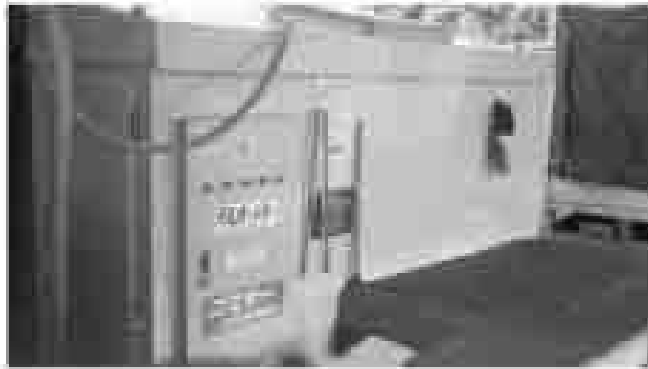
災害時には特に緊
急伝達としての利用
価値が高いので、更
に加入促進をはかっ
てゆくべきだと要望
しました。

以上慎重に審査を
行い、委員全員一致
して認定しました。



社会福祉常任委員会

9月定例会の委員会報告



辰野病院の生ゴミ処理機を確認しました

- 平成14年度一般会計決算の内、民生費、（同和对策費を除く）及び衛生費（水道費を除く）
- 平成14年度国民健康保険特別会計決算
- 平成14年度第一診療所特別会計決算
- 平成14年度川島診療所特別会計決算
- 平成14年度老人保険医療特別会計決算
- 平成14年度辰野総合病院事業会計決算
- 平成14年度介護老人保険施設特別会計決算
- 平成14年度介護保険特別会計決算

一般会計決算

◆保健福祉センター「ぬくもりの里」のJA上伊那への負担金の見直しを検討するよう要望しました。

◆共生館あさひヶ丘は現在十五部屋の内、入居者は七部屋で、更なる入居の努力と施設使用の有料化を求め、意見があり検討するよう要望しました。

◆小野介護センターは現在社会福祉協議会に委託して運営しており、利用者も多く有効に利用されています。

今後の課題として地域社協で運営し、夜間も利用できるよう要望しました。

◆高齢者いこいサロンの管理費は年間約四十九万円ですが、管理運営を地元でできないかとの意見があり、検討するよう申し添えました。

◆新町保育園は一昔

古く老朽化も進み、地元からの強い要望もあり、また中央保育園の過密状態を解消するためにも、一刻も早い建設計画の検討を要望しました。

学校・保育園の食材を顔の見える地元直売施設から供給できないか要望がありました。

◆製紙会社の新規事業計画については、住民から環境問題についての苦情や、場所的にも事業内容においても不可解な点も多く更に精査する必要があります。

また水質、排水、ばい煙、悪臭などの環境測定は基準値内にあるものの更なるチェックを望みます。

特別会計

◆国民健康保険税が払えないため、資格証明書の発行を受ける人が増えている実態から、病気があっても医療費が高く病

院にかかれぬ患者の救済方法は無いのかとの意見があり検討することを要望しました。

九月に「生き生きさわやかフェスティバル」十月に「ふれあいウオーク」と大きなイベントが続くので、経費節減の観点からイベントの見直しを検討するよう要望しました。

◆老人保健医療は、制度改正により、対象年齢が七五歳以上に引き上げられ、対象者は十月以降減少しているが、年間四一一人で前年比七九人増加しています。

◆辰野総合病院事業については、医療事故防止対策、患者や家族に信頼される看護師の対応などについて議論され、改善対策を検討するよう要望しました。

地域の自治体病院として更なる医療の充実に努力するよう望みます。

◆福寿苑については、土・日にも営業し、通所者の利便の向上を図れないか要望しました。

◆介護保険事業は「介護の負担を社会全体で支え合う」を合言葉に介護保険が定着しつつありますが、滞り整理に更なる努力を要望しました。

辰野総合病院料金改正条例について

◆制度改正に伴い、入院期間が一八〇日を超えた患者の入院基本料金が一〇〇分の八五に減額され、一〇〇分の十五に相当する金額を患者から徴収するものです。

今後の病院運営を考えればやむを得ない状況であると判断しました。



経済建設常任委員会

9月定例会の委員会報告

- 平成14年度一般会計決算の内、衛生費の内水道費、農林水産業費、商工費、土木費及び災害復旧費
- 平成14年度上水道事業会計決算
- 平成14年度簡易水道特別会計決算
- 平成14年度小野簡易水道特別会計決算
- 平成14年度公共下水道特別会計決算
- 平成14年度特定環境保全公共下水道特別会計決算
- 平成14年度農業集落排水処理施設特別会計決算

ほたる童謡公園事業を確認しました

上水道費

一月発生の油混入事故について、発生からの経緯説明を求めました。

また、同事故による発生費用は概算二千七百万円にのぼるとの説明を受けました。更に再発の恐れと稼働中のポンプに問題が無いかとの質問に対して、監視体制を強めており安定供給に尽力するとの事でした。

上水道未収金は2570万にのぼります。この徴収については、給水停止等の強い姿勢で望む事を要望しました。

小野簡易水道特別会計では、駒沢ダム建設中止の方向から新しい水源を研究する必要に迫られ、小野地区住民が安心できる代替案を、早急に検討すべきとの意見が出されました。

下水道費

工事も、現在樋口・赤羽地区に着手進行しており、終盤をむかえております。

計画では、平成17年には下辰野駅前地区除いて、全地区の事業が終了する予定です。

今後は、水洗化率の向上に向けての努力を要望します。

農林水産費

農業委員会による農地バトロールについて、チェック体制のあり方また、地元区との十分な連携をとるべきとの指摘がありました。

遊休地・荒廃地が増加している中、昨年より、一部地区では農業委員が中心となり新事業が始まったとの報告もありました。

負担金・補助金

町有害鳥獣駆除対策協議会補助金は、年々拡大する被害に

対して、駆除対策を全町で実施してほしいとの要望がありました。

林業費

林道改善事業費について、県営林道開設工事西部線負担金は、工事費の10%で、一千万円であった。

しかし今後県予算の縮小に伴って減額されるとの報告がありました。

商工費

「お楽しみ抽選会」は、経済効果1億円余りを創出したが、2年目からは、企画を実施する場合、実施期間や実施内容を、商工会や商業者また消費者代表と更に煮詰め、町の沈滞している商業の活性化に寄与することを期待します。

ほたる童謡公園整備事業

第3期整備事業は

完工しました。町民に親しまれる管理・運営を進めるよう要望しました。

土木費

除雪機等購入補助では、8台分が購入・配置されました。除雪作業については、町全体では主要町道から除雪に努め、町民の生活安定を図るよう提言しました。

都市計画費

天神原地区の徳本水パイパス建設が中止された今どのような解決を求めめるのか、国道153号線の徳本水改良工事は、難しい状況ではあるが、再度国と県へ要望すべきとの意見でありました。

災害復旧費

災害復旧に対しては、速やかに対処することを強く要望しました。

陳情のゆくえ

二件に関して意見書を国等に送付しました

9月議会では、陳情5件を審議し、採択が2件、不採択が1件、継続審査が2件となりました。

採択された陳情

私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情

生徒急減期と厳しい経済状況の中陳情の趣旨を理解して、意見書を提出するとともに全員一致にて「採択」に決し、国、県へ意見書を送付しました。

家畜排泄物処理施設整備に係わる補助事業費予算の

増額を求める陳情

家畜の排泄物による環境汚染を防止し、堆肥として利活用で

税制改革（消費税の見直し等）に関する意見書の提出についての陳情

不採択となった陳情

きる施設整備を目的とした補助事業であり畜産環境対策が円滑に実施できること等を重視し、全員一致で採択と国へ意見書を送付しました。

委員会審査では、七百兆円を超える国の財源不足や老人医療や福祉にかかる財源の確保は今慎重に議論されるべきです。採決の結果、採択一名、不採択三名、継続審査一名で「不採択」に決しました。

継続審査となった陳情

浜岡原発震災を未然に防ぐことに関する陳情

危機管理を含め慎重に審議する必要があるとし、全員一致で継続審査と致しました。

教育基本法の改定ではなく、その理念の実現を求める意見書の採択を求める陳情

全員一致にて補足説明の調査などのため、再度継続審査となりました。

条例案審議の内容

農業委員会の選挙による委員定数条例の一部を改正する条例

は、休耕地、荒廃地対策のためより活発に活動されたいとの意見がありました。

辰野総合病院料金条例の一部を改正する条例

制度改正に伴い、入院期間が一八〇日を超えた患者の入院基本料金が一〇〇分

お知らせ

本号から、陳情・請願及び条例案の審査は一括まとめて掲載します。